

2020年11月24日

三菱製紙株式会社

## メルトブロー不織布およびマスクの生産設備新設について

三菱製紙株式会社は、高捕集効率のマスクに欠かせないメルトブロー不織布※およびマスクの生産設備を新設いたします。メルトブロー不織布の生産能力はマスク換算で約2億枚/年相当となり、営業運転開始は2021年6月の予定です。本事業は経済産業省の「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」に採択されました。マスク生産はメルトブロー不織布に先がけて、2021年1月に営業運転を開始する予定です。

これまで当社では、湿式不織布の分野で、主にクッションフロアの基材、水処理膜基材、バッテリーセパレータ等を生産してまいりました。一方、メルトブロー不織布のような乾式不織布の自社生産は今回が初めての取り組みとなりますが、乾式不織布を使用した製品としては、空気清浄機用抗ウイルス機能性フィルターを製造販売するなど、多くの機能性濾材の技術的知見を蓄積しております。

今回独自のメルトブロー不織布とマスクの生産設備を導入し、これまで培った技術を適応させることで、抗菌・抗ウイルス・抗アレルギー物質等の機能を付与した高性能マスクの自社生産を開始すると同時に、メルトブロー不織布と既存の湿式不織布を複合させた各種機能性濾材の開発を進め、安全で快適な生活に役立つ機能性製品のラインアップをさらに充実させてまいります。

### 【新設備の概要】

1. 生産品目 : メルトブロー不織布、不織布マスク
2. 設置場所 : 三菱製紙株式会社 高砂工場（兵庫県高砂市）
3. 設備投資金額 : 約5億円
4. 営業運転開始 : 2021年6月（予定）

### 【用語解説】※メルトブロー不織布：

スパンボンド不織布と同様の原理で生産されるが、熔融された樹脂を高温・高速の空気流で吹き飛ばし紡糸することで、より微細な繊維が形成される。多層の不織布マスクの内側等各種フィルター用途に利用され、ウイルスや花粉除去などのフィルター性能の中心的役割を担う。その他吸音材、吸油材、衣料用中綿等の用途に使用されている。

### 【本件に対するお問い合わせ先】

機能商品事業部 産業資材商品部長 久松直貴 電話 03-5600-1473